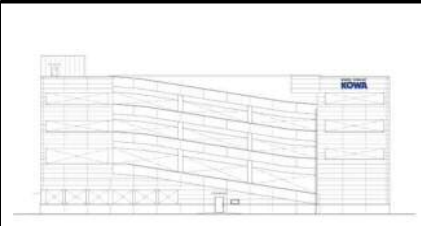


# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2019年版、4.0版) ■使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 |                                    | 1-2 外観 |                 |
|----------|------------------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | 本社南工場(立体駐車場)                       | 階数     | 地上4F            |
| 建設地      | 名古屋市瑞穂区二野町501-502-503-504-505-506番 | 構造     | S造              |
| 用途地域     | 都市計画区域内 市街化区域                      | 平均居住人員 | 0 人             |
| 地域区分     | 6地域                                | 年間使用時間 | 1,960 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 工場                                 | 評価の段階  | 基本設計段階評価        |
| 竣工年      | 2023年7月 予定                         | 評価の実施日 | 2022年6月23日      |
| 敷地面積     | 5,640 m <sup>2</sup>               | 作成者    |                 |
| 建築面積     | 1,278 m <sup>2</sup>               | 確認日    | 2022年6月24日      |
| 延床面積     | 5,168 m <sup>2</sup>               | 確認者    |                 |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

| 3 設計上の配慮事項                               |  | その他  |
|--|--|--|
| <b>総合</b><br>LED照明の採用など設備システムの高効率化を目指した。 |  |  |
| <b>Q1 室内環境</b><br>評価対象外                  | <b>Q2 サービス性能</b><br>階高を3.5m以上に設定し、空間のゆとりを確保している。 | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>敷地内の緑化に努め、景観に配慮している。  |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>LED照明の採用。            | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>特になし                      | <b>LR3 敷地外環境</b><br>緑地、十分な広さの駐輪場・駐車場を確保している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

本社南工場(立体駐車場)

- 使用評価マニュアル:
- 評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2  
CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 重点項目            |                 | 評価            | 全体に対する重み係数  | 重点項目スコア     |
|-----------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|
| <b>1. 温暖化対策</b> |                 |               |             | <b>3.9</b>  |
| LR1             | エネルギー           | 4.2           | 0.4         |             |
| LR3.1           | 地球温暖化への配慮       | 3.7           | 0.1         |             |
| LR3.2.2         | 温熱環境悪化の改善       | 2.0           | 0.05        |             |
| <b>2. 自然共生</b>  |                 |               |             | <b>1.9</b>  |
| Q3.1            | 生物環境の保全と創出      | 2.0           | 0.171428571 |             |
| Q3.3.1          | 地域性への配慮、快適性の向上  | 地域性のある材料の使用※1 | 無           | 0.017142857 |
| Q3.2            | まちなみ・景観への配慮     |               |             |             |
| Q3.3.2          | 敷地内温熱環境の向上      | 2.0           | 0.085714286 |             |
| <b>3. 循環型社会</b> |                 |               |             | <b>2.7</b>  |
| LR2.1           | 水資源保護           | 2.2           | 0.06        |             |
| LR2.2           | 非再生性資源の使用量削減    | 2.9           | 0.18        |             |
| LR3.2.3         | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 2.5           | 0.016666667 |             |

### 結果

|  |           |
|--|-----------|
| <b>1. 温暖化対策</b>  | 評価点 = 3.9 |
|  |           |
| <b>2. 自然共生</b>   | 評価点 = 1.9 |
|  |           |
| <b>3. 循環型社会</b>  | 評価点 = 2.7 |
|  |           |

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。